



学校だより

《学校長 あいさつ》

4月に入ってから雪が降り、桜の開花が心配されましたが、十六沼公園の桜は、入学式を待っていたかのように見頃を迎え、あっという間に緑が濃くなってきました。

今年は、平成から令和へと新しい時代の幕開けとなる年となりました。本校にとりましても、昭和54年の開校から今年で40年の節目の年を迎えます。これまでの間、地域の皆様を始めとして 大笹生学園や関係機関の皆様、父母と教師の会並びに教育活動後援会会員の皆様方など、たくさんの方々に支えられ 現在に至っております。これまでの多大なる御協力と御支援に感謝を申し上げます。

さて、今年度は児童生徒数251名（5月1日現在）でのスタートとなりました。本校では、児童生徒一人一人を大切にインクルーシブな学校（共に学ぶ学校）を目指し、全職員が学校が果たす役割を意識しながら協働・連携した取り組みを進めてまいります。詳細につきましては、平成31年度（令和元年度）学校経営・運営ビジョンをご覧ください。

また、昨年度は、「地域支援センターささっこ」の場所を南校舎玄関の向かい側に移転しました。保護者や地域の皆様が気軽に立ち寄り、お子様の子育てや子ども達とのかかわりなどについて、お話をしたり、情報交換をしたりする場としてご利用ください。

本校は、地域と共に歩む学校をめざしております。お気づきの点がございましたら、学校にお問い合わせください。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

大笹生支援学校長 丹野 好恵



新入生を迎えて

4月8日（月）、本校体育館において平成31年度始業式ならびに入学式を行いました。新入生は小学部17名、中学部16名、高等部31名の合計64名です。

入学式では、校長式辞に続いて、大笹生学園園長角田敏明様、父母と教師の会会長保科健太様よりお祝いのことばをいただきました。さらに、高等部新入生代表生徒による力強い新入生誓いのことば、そして高等部3年生在校生代表からの先輩らしい堂々とした歓迎のことば、校歌斉唱へと進みました。式場は祝福とあたたかな雰囲気にあふれ、参加した児童生徒たちは進級・入学の喜びや期待とともに新しい年度の始まりを意識していたようでした。



高等部の作業着が新しくなりました！

作業着は水曜日と金曜日の作業学習の際に着用しています。4月の作業学習のオリエンテーションの際に、作業に適した服装を着用し、安全に気をつけながら取り組むことや、「ズボンの裾をまкруらず裾上げして適度な長さにする」「ベルトをしてズボンが下がらないようにする」「髪の毛が長い場合は結ぶ」など、仕事をする上での身だしなみについての学習を行いました。

高等部の作業学習班は8班あります。それぞれの班で生徒一人一人が「働く力」を高めることを目標に頑張っています。